

平成11年10月1日
原子力安全対策課
(11 - 97)
< 9時資料配布 >

(株)ジェー・シー・オー東海事業所の放射能漏れ事故に対する
支援・協力について

昨日9月30日に発生した茨城県東海村の『株式会社ジェー・シー・オー東海事業所の放射能漏れ事故』を踏まえ、福井県は、科学技術庁に対して、現地の周辺環境放射能測定に協力するため、環境放射線測定装置（可搬型モニタリングポスト）の提供を申し入れ、受諾されたことから、本日、職員4名を現地に向け派遣した。

○派遣者：福井県県民生活部

消防防災課

参事 三好信義

原子力環境監視センター

主任研究員 高山裕美 他2名

○支援資機材：可搬型モニタリングポストデータ収集システム一式（別紙参照）
可搬型モニタリングポストデータ収集機器装置4台ほか

なお、資機材等は、福井県防災ヘリコプターおよびトレーラーにて搬送中であり、本日正午頃、現地到着予定（交通状況により到着時刻に変更の可能性あり）。

可搬型モニタリングポストデータ収集システム

1. システム概要

原子力防災時（緊急時）に既設固定観測局の設置区域以外の地域において、「可搬型モニタリングポスト」を仮設し、一般公衆回線（携帯電話）を利用して放射線量率データと設置場所を自動収集し、緊急時モニタリングセンターで、表示、集計するもの。

2. システム内容

(1) 可搬型モニタリングポストデータ収集機器装置

- ・ 検出器 : 低線量用検出器（1 nGy/h～11 μ Gy/h）
 (Na I シンチレーション検出器)
 高線量用検出器（9 μ Gy/h～100mGy/h）
 (半導体検出器)
- ・ 送信データ : 測定値、緯度経度、日付、機器認識コード、電源電圧状態、計測機器状態など
- ・ 形状 : 検出器部、固定台が分離可能で2人で容易に運搬可能な重量で、バン型の車に搭載可能
- ・ 機器機能特性 : 測定範囲（1 nGy/h～100mGy/h）、測定周期（10分）

(2) コンピュータ、データ送信・収集ソフト

汎用ソフトにて、データおよび統計処理が可能。